

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

西暦 2018年6月1日作成

<p><b>研究課題名</b></p>	<p>放射線治療装置の低線量被爆研究</p>
<p><b>研究の対象</b></p>	<p>2017年1月1日から2018年4月27日に食道がん・前立腺がん・子宮頸がん・直腸がんで胸部および骨盤に強度変調回転放射線治療(VMAT)の治療計画 CT を当院で撮影された方（後ろ向き調査）</p>
<p><b>研究目的 ・方法</b></p>	<p>Synergy(2004年開発, エレクタ社)とTrue beam (2016年開発バリアン社)の放射線治療装置による低線量被爆を治療計画ソフトにより公正な方法で比較する。VMAT治療計画を行った症例の内、CT画像撮影範囲が広い胸部VMAT10例および骨盤VMAT10例の治療計画装置内にある治療線量計算情報を用いて、True beamによるVMAT低線量被爆が適切に低減されているかの有無を異なる照射部位において研究する。当研究は、日本電子応用株式会社から共同研究費を受け、さらに無償による機器の貸与を受けて研究を実施する。同社とは利益相反状態にあるが、臨床研究利益相反委員会に報告され、必要な情報の開示など適切に管理されることで承認されている。</p>
<p><b>研究期間</b></p>	<p>西暦 2019年 2月 1日 ~ 西暦 2020年 1月 31 日</p>
<p><b>研究に用いる 試料・情報 の種類</b></p>	<p>治療計画装置内にある、VMAT 治療計算に用いた CT 画像、VMAT 治療計算に用いた CT 画像上の標的情報・正常組織情報、VMAT 治療計算に用いたプロットコール情報。いずれも個人が特定できないようにして情報を扱う。</p>

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

**問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：**

〒232-0024 （所在地）横浜市南区浦舟 4-57

（所属機関）市民総合医療センター 放射線科 （研究責任者）荻野伊知朗

電話番号：045-261-5656 FAX 045-253-9955